

2020年3月期 第3四半期 決算説明資料

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1) 決算概要 | 6) トピックス |
| 2) 決算のポイント | 7) 減価償却費と研究開発費 |
| 3) 商品群別売上高 | 8) 通期業績見通し |
| 4) 国内売上高 | [参考] 商品群別売上高見通し/
為替の影響 |
| 5) 海外売上高 | |

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2020年2月3日

Fighting Disease with Electronics



1) 決算概要

	2019/3 第3四半期 累計	2020/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
売上高	120,227	129,525	7.7
国内売上高	87,568	94,387	7.8
海外売上高	32,659	35,137	7.6
売上総利益 (売上総利益率)	58,627 48.8%	63,039 48.7%	7.5
営業利益 (営業利益率)	6,365 5.3%	8,396 6.5%	31.9
経常利益	7,143	8,108	13.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,986	4,832	△ 3.1

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: +11%

← 自社品 2018/12 2019/12
売上比率: 64.0% → 65.0%

← 販管費率: 43.5% → 42.2%

← 為替差損益: 2018/12 2019/12
為替差益 為替差損
190百万円 → 511百万円

← 【特別損失】 2019/12
和解金 520百万円
事業所移転費用 178百万円

平均レート	(2018/12)	(2019/12)
1米ドル	110.7円	109.0円
1ユーロ	129.4円	121.3円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 7.7%増

- ・国内：新製品を相次いで投入するとともに、顧客価値提案の推進、保守サービス事業の強化に注力し、全ての市場、全ての商品群で増収。
- ・海外：全ての地域、全ての商品群で増収を確保。

営業利益：前年同期比 31.9%増

- ・増収効果により、人件費等の販管費の増加を吸収し、二桁増益。
- ・自社品売上比率向上も売価ダウンが影響し、粗利率は0.1%ポイント低下。

純利益：前年同期比 3.1%減

- ・為替差損益が差損に転じる。
- ・和解金や事業所移転費用等の特別損失を計上。

3) 商品群別売上高

(単位: 百万円)

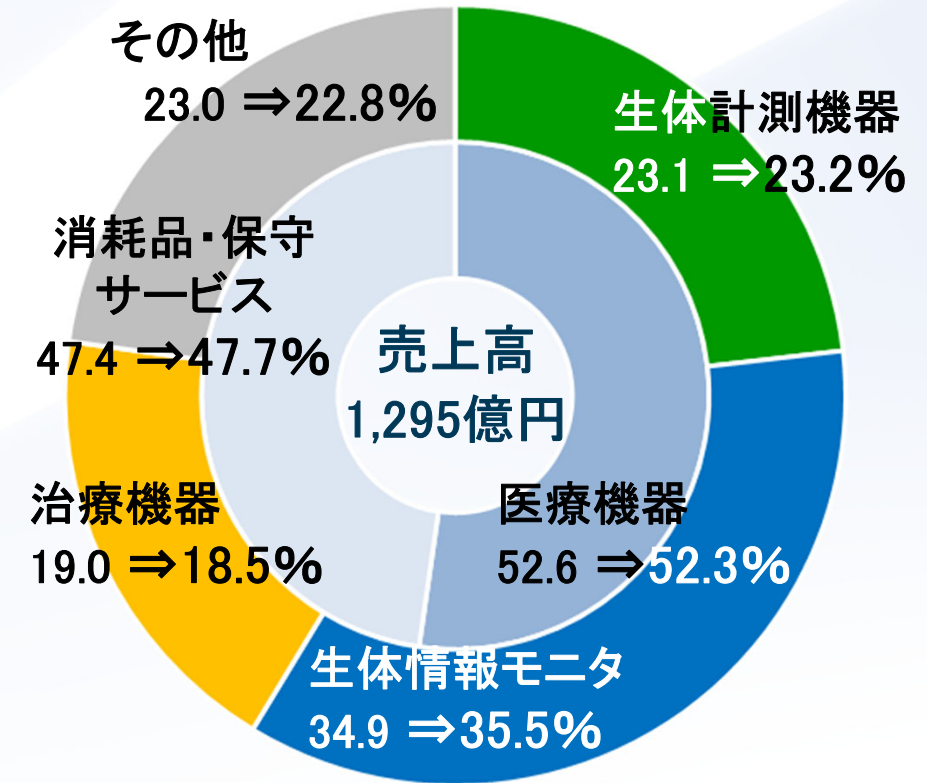
	2019/3 第3四半期 累計	2020/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	27,776	30,002	8.0
生体情報モニタ	41,933	46,008	9.7
治療機器	22,894	24,019	4.9
その他	27,624	29,494	6.8
売上高合計	120,227	129,525	7.7

(ご参考)

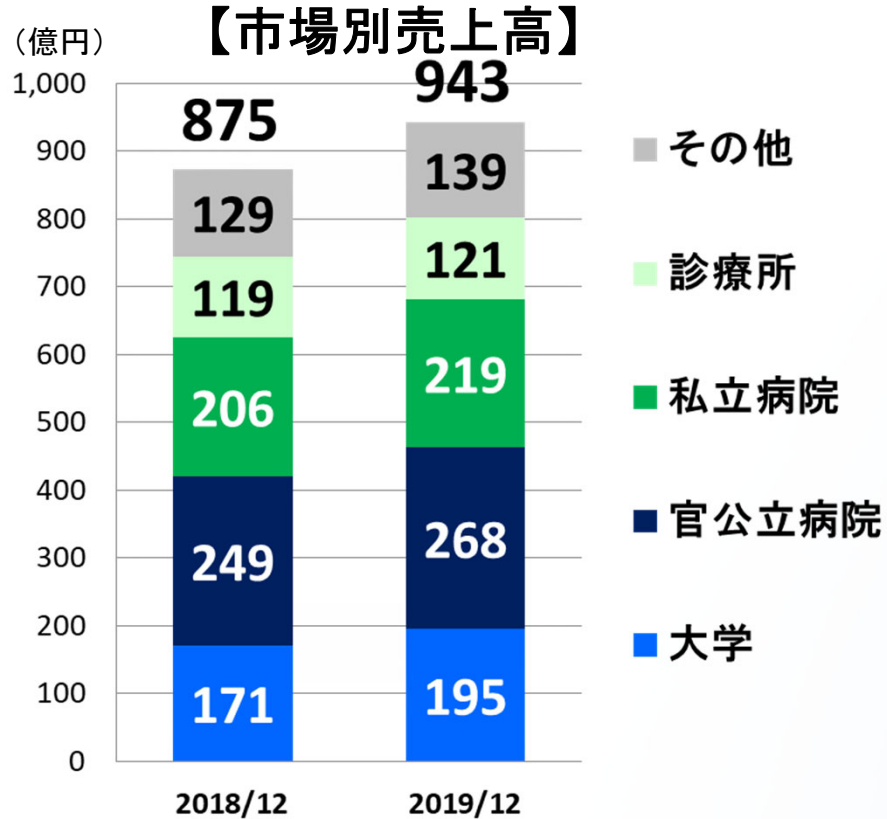
消耗品・保守サービス	56,956	61,804	8.5
------------	--------	--------	-----

商品群別売上構成比

(2018/12 ⇒ 2019/12)



4) 国内売上高



【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

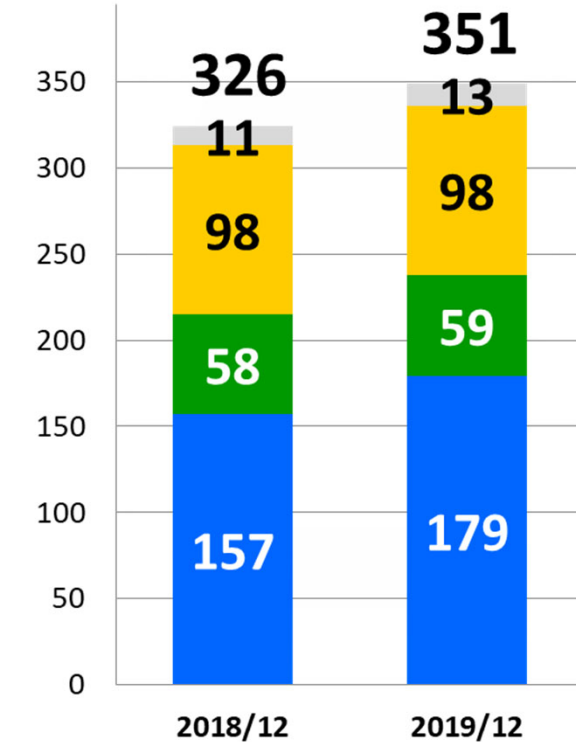
	2019/3 第3四半期 累計	2020/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	21,789	23,607	8.3
生体情報モニタ	25,567	28,521	11.6
治療機器	15,916	16,900	6.2
その他	24,294	25,357	4.4
売上高合計	87,568	94,387	7.8

【市場別】 全ての市場で増収。大学、官公立病院市場において新築移転に伴う大口商談を受注したこと、消費税率引上げ前に一定の駆け込み需要があったことも売上に寄与。

【商品群別】 生体計測機器: 心臓カテーテル検査装置群、診断情報システムが好調。心電計群も増収。脳神経系群は前年同期並み。
 生体情報モニタ: ベッドサイドモニタの新製品効果や臨床情報システムの更新商談の増加もあり、好調に推移。
 治療機器: 大口商談の受注もあり、除細動器、人工呼吸器が大幅に伸長。AEDは、販売台数は増加するも、消耗品が減収。
 その他: 検体検査装置の新製品が寄与。医療機器の設置工事、保守サービスも好調に推移。

5) 海外売上高

【地域別売上高】



■ その他：前年同期比 +20%
(為替影響除く: +22%)

■ アジア州：前年同期比 +0%
(為替影響除く: +4%)

■ 欧州：前年同期比 +1%
(為替影響除く: +7%)

■ 米州：前年同期比 +14%
(為替影響除く: +16%)

【海外売上高比率】

2019/3 第3四半期累計	2020/3 第3四半期累計
27.2%	27.1%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2019/3 第3四半期 累計	2020/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	5,986	6,394	6.8
生体情報モニタ	16,365	17,487	6.9
治療機器	6,978	7,119	2.0
その他	3,329	4,136	24.3
売上高合計	32,659	35,137	7.6

為替影響除く: +11%

- 【地域別】 米州：米国は年間を通じての受注・納品の平準化に努めたこともあり大幅に伸長。中南米は堅調に推移。
 欧州：ドイツ、イタリアが堅調に推移したほか、トルコでの売上が回復。
 アジア州：インドが好調に推移。サウジアラビアにおける生体情報モニタ商談の受注も寄与。中国は前年同期を下回る。
- 【商品群別】 生体計測機器：脳神経系群が米州で好調に推移。心電計群はアジア州で前年同期を下回る。
 生体情報モニタ：全ての州で前年同期を上回る。特に、米国が二桁増と好調に推移。
 治療機器：AEDが米国、アジア州で好調に推移。除細動器はアジア州で前年同期を下回る。
 その他：新興国市場での販売・サービス活動の強化や政府入札案件の受注が奏功し、血球計数器の売上が大幅に伸長。

6) トピックス

2020年3月期発売の主な新製品

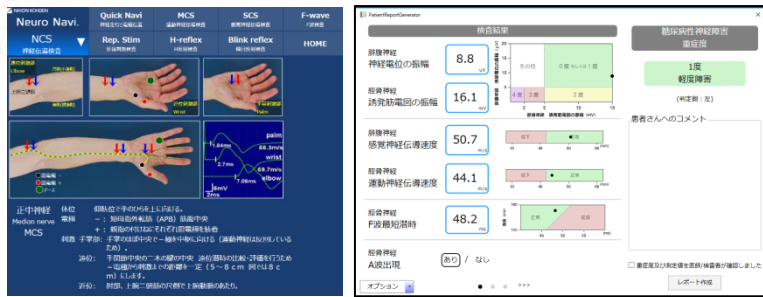
臨床検査機器事業



筋電図・誘発電位検査装置 MEB-9600

Q3: 日本

- 充実したガイド機能で、検査の効率化をサポート
- 患者さんへの説明用に糖尿病性神経障害レポート機能を搭載



心電計 ECG-3150

Q1: 日本、欧州、新興国

治療機器事業



人工呼吸器 NKV-550

Q2: 新興国、Q3: 欧州

- Q4米国発売
- 生体情報モニタとの相乗効果を期待



人工呼吸器 NKV-330

Q1: 日本、欧州、新興国



除細動器 EMS-1052

Q2: 日本
Q3: 欧州、新興国

生体情報モニタリング事業



スポットチェックモニタ SVM-7200

Q1: 日本、欧州、新興国、Q3: 米国
※ 日本はコンティニューアス・モードのみ



ベッドサイドモニタ PVM-4000

Q1: 日本、欧州、新興国



医用テレメータ WEP-1400

Q2: 日本

※ 許認可申請の審査期間等によって、各国での実際の発売時期は異なります。

7) 減価償却費と研究開発費

(単位: 百万円)

	2019/3 第3四半期 累計	2020/3 第3四半期 累計	増減額	2019/3 前期実績	2020/3 予想	
					期初	11月5日 修正
減 価 償 却 費	2,550	2,611	61	3,542	3,900	3,800
研 究 開 発 費	5,459	4,758	△ 700	7,243	7,600	7,200
設 備 投 資 額				3,049	4,700	4,600

【2020/3期 設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、ドバイ試薬工場(2億円)、東日本物流センタ(4億円) → 企画賃貸型のため、投資は移動ラックなど物流設備のみ

8) 通期業績見通し

	2019/3 前期実績	2020/3予想			増減率 (%)
		期初	6月17日修正	11月5日修正	
売上高	178,799	186,000	186,000	186,000	4.0
国内売上高	130,223	133,000	133,000	134,500	3.3
海外売上高	48,575	53,000	53,000	51,500	6.0
売上総利益 (売上総利益率)	85,987 48.1%	90,200 48.5%	90,200 48.5%	89,800 48.3%	4.4
営業利益 (営業利益率)	15,044 8.4%	16,000 8.6%	16,000 8.6%	16,000 8.6%	6.4
経常利益	15,867	16,000	16,000	16,000	0.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,191	11,000	10,700	10,700	△ 4.4
海外売上高比率	27.2%	28.5%	28.5%	27.7%	

(単位:百万円)

← 為替影響除く: +9%

【地域別海外売上高】

	2019/3 前期実績	2020/3予想		増減率 (%)
		期初	11月5日修正	
米州	23,508	25,500	24,600	4.6
欧州	8,167	8,900	8,600	5.3
アジア州	15,096	16,000	15,600	3.3
その他	1,802	2,600	2,700	49.8
海外計	48,575	53,000	51,500	6.0

平均レート

1 米ドル	110.8円	108円
1 ユーロ	128.5円	125円

※第4四半期の前提為替レートは109円／米ドル、120円／ユーロです。

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2019/3 前期実績	2020/3 予想			増減率 (%)
		期初	11月5日修正	構成比(%)	
生体計測機器	40,773	41,700	41,850	22.5	2.6
生体情報モニタ	61,978	66,150	64,500	34.7	4.1
治療機器	33,149	34,250	34,750	18.7	4.8
その他	42,898	43,900	44,900	24.1	4.7
売上高合計	178,799	186,000	186,000	100.0	4.0

(ご参考)

消耗品・保守サービス	79,226	83,000	83,100	44.7	4.9
------------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.1億円	0.9億円
ユーロ	0.5億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003